

令和3年度水質事故対応訓練を実施しました

平成20年に群馬用水の水路内へ油を不法投棄される事態が発生し、群馬用水管理所は事態の収束に全力で取り組みました。

これを契機に関係機関と連携し、油流出を想定した水質事故対応訓練を毎年行っています。

群馬用水は、県央地域7市町村約6,300haの農地と8市町村約100万人の飲み水を供給することにより地域を潤す非常に重要な施設です。

<平成20年の油不法投棄の概要>

1. **発見状況**：平成20年6月17日の朝6時30分頃、赤城幹線水路内において油が流れていると連絡。
2. **対応状況**：幹線水路等にオイルフェンスを設置し、油の回収（吸着処理）、被害拡大防止、監視を実施。発生から24日後の7月11日に態勢を解除。（利水者、消防等の関係機関にも協力を頂く）
3. **原因究明**：水路沿いで油が投棄された形跡が発見されたが、原因者等は不明。
4. **被害**：農業・水道において被害は発生していない。

今年度は、11月10日（水）にNPO法人自然エネルギー・環境協会の講師をお招きし、群馬用水管理所職員10名、関係利水者19名の参加者と共に水質事故対応訓練を実施しました。

訓練では、座学として講師から油と中和剤と呼ばれる薬剤の特性や油が流出した際の対処方法など「油流出事故対策等」の講義を受け、その後、オイルフェンスの連結方法、ロープワークの指導を受けました。

実地訓練では、指導を受けたロープワークの練習や群馬用水の水路にてオイルフェンス設置訓練を機構職員と関係利水者と協働して4班編成で実施しました。

油流出時の基礎知識やロープワーク、オイルフェンス設置といった訓練は、継続していくことが肝要であると考えておりますので、今後も職員の防災知識の向上、技能の習熟に努めてまいります。

※ 群馬用水管理所では、幹線水路の各所にオイルフェンス等吸着資材の配備を行っています。

油の流出事故があった場合には、被害の拡大防止のために迅速な対応が重要となります。水路等で油が浮いているのを見かけた際は、群馬用水管理所までご一報お願いいたします。
TEL：027-251-4266

[訓練状況：群馬用水榛名流況安定施設敷地内及び幹線水路にて]

①講義

NPO 法人自然エネルギー・環境協会より油の特性等による実演を交えた講義を受けました。



②オイルフェンスの連結

NPO 法人自然エネルギー・環境協会による実演を交えた講義で、吸着型及び拡散防止型のフェンスの連結方法の講義も受けました。



③オイルフェンス連結の練習

訓練で使用する吸着型オイルフェンス連結の練習を関係利水者と協働で実施しました。



④ロープワークの練習

ロープワークの基本ともいえる「もやい結び」と「巻き結び」の説明を受け、繰り返し練習しました。



⑤設置訓練状況その1

油を回収する場所を想定し、斜めに張るよう意識しました。回収場所のオイルフェンスはL型のような返しを設置しました。



⑥設置訓練状況その2

4班編成により4重に設置し、上流部で吸着マットによる油回収の訓練を行いました。オイルフェンス設置完了です。

